

# 墓志銘研究会

## メンバー：

孫 悅妍	文研	東洋史学専修	李 競	社研	応用社会学専攻
祁 蘇曼	文研	東洋史学専修	鄧 子琦	文研	東洋史学専修
徐 瑩	社研	応用社会学専攻			

## 研究背景：

本研究会は、近年中国で陸続と発見されている出土文字史料を用いて、限られた文献史料の不足を補い、新たな歴史学的知見を得ることを目的とする。出土文字史料のなかでも、棺とともに墓室に埋納された、被葬者の生前の行状や人物評価を銘記する石刻「墓誌銘」は、その史料的特性（顕彰碑として美化されていること）を理解した上で利用すれば、文献史料の情報を相対化することができる一級の史料群といえる。限られた史料の中で行われる中世史研究を、今後さらに実証的に展開していくには、既存史料の綿密な再検討と、墓誌・簡牘をはじめとする出土文字資料や、辺境発見文書などの新発見資料の網羅的活用などがあげられる。

## 活動内容：

### 墓誌講読

「宋彥筠墓誌」「孔謙及妻劉氏王氏合葬墓誌」

「牛存節墓誌」

### 研究発表

唐代後半期における藩鎮節度使の墓誌銘について

蓬左文庫蔵『女論語』について

十世紀における墓誌銘の出土及び出版の現状